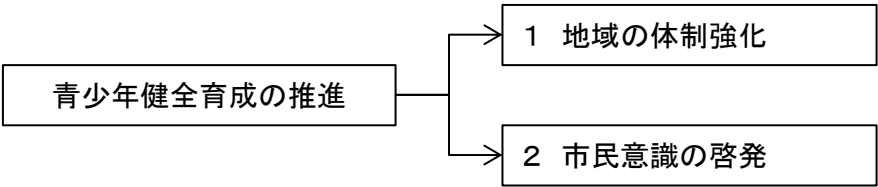


施策 3 青少年健全育成の推進



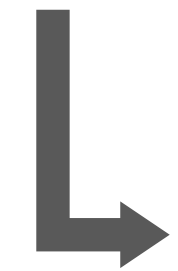
基本事業 1 地域の体制強化

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H29実績	H30実績	R2目標		
3-1-1 青少年体験学習	市内小中学生、またその保護者や地域の住民	・体験活動を通じて大船渡の子どもが自立心や達成感を深める機会やきっかけを提供する。 ・普段触れる機会の少ない分野の体験機会を提供し、子供たちの好奇心や未知の分野へ挑戦する意欲を育む。	小中学校を対象に学校や家庭では得難い体験活動の実施(年2回程度)。 (H30年度事業:大窪山森林公園で親子サバイバル教室・カメリアホールで3Dプリンタ/CADの体験講座)	アンケートによる満足度の高評価の比率	%	75.5	94.0	95.0	A 参加者からの内容に対する満足度は高い状況にある。	● 目指すべき青少年のあり方を踏まえ、反応の良かった講座は複数年度実施し、講座内容の浸透を図るとともに、潜在的な体験学習ニーズの把握に努め、新規講座も開催する必要がある。
3-1-2 教育振興運動事業	・市民 ・教育振興運動実践区	近年の著しい社会情勢の変化に対応するため、生涯学習の重要性について市民の理解を深め、行動する。	関係者研修会の開催、実績等取りまとめ、事業補助金の交付	①教育課題の解決のために具体的な活動を実施した実践区数 ②実践区への補助金額 ③よりよい地域にするための地域づくり活動に参加している人の割合(市民意識調査)	①区 ②千円 ③%	①8 ②100 ③18.2	①8 ②117 ③18.2	①8 ②240 ③18.7	B 各実践区では様々な教育課題に対応する主題を掲げ、その課題解決のため、創意と工夫による実践的な活動に取り組み、地域における課題や対策の共通認識、地域の子供たちの健全育成が概ね図られた。	● 教育振興運動において、効果的な活動の継続や活動の周知により、地域住民の意識改革を行い、各実践区の活動を支える事務局体制を強化し、安定的に継続した取り組みを進めていく必要がある。

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H29実績	H30実績	R2目標	
3-1 地域の体制強化	市民	青少年の健全育成に連携して取り組む。	「身近な地域で青少年健全育成活動が行われている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	%	33.5	33.6	50.0	B 教育委員会所管の事務事業はおおむね計画通り実施されているが、青少年健全育成に関する取組は、防犯・非行防止・まちづくり活動等、広範囲にわたっていることから、関係組織・団体等との更なる連携が必要である。

基本事業2 市民意識の啓発

事務事業名	対象	意図	事業内容	成 果 指 標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名 称	単位	H29実績	H30実績	R2目標		
3-2-1 青少年健全育成事業	関係団体	青少年が社会性を身に付け健全に育成される環境をつくる。	・少年の主張大会の運営に参画 ・各種イベントの情報提供、照会等の取りまとめ	(年間の非行少年補導数/対象指標の青少年の数)の割合	%	3.9	3.1	2.5	B 青少年健全育成事業は、市内の各種団体が広範囲にわたり取り組んでいるところであり、関係者との理解を図りながら、普及・啓発活動に努めている。	○ 青少年健全育成を所管する部署が教育委員会部局と市長部局に分散していることから、効率性の観点から統合を含め推進体制の整備を図る必要がある。
3-2-2 成人式の開催事業	新成人	成人としての自覚をもってもらう。	成人式実行委員会の開催、記念行事の実施、記念品の配布等	新成人の成人式出席率	%	78.6	78.9	90	B 冬の成人式が定着し、成人者の家族の関心も高く、家族等の一般参観者が増加傾向にあるが、少子化の進行と大学等への進学率の上昇により、市内に在住している新成人数は減少しており、実行委員の確保に苦慮している。	○ 継続的に実施することとするが、成人年齢が18歳に引き下げとなる民法改正が、2022年4月1日から施行されることになり、今後、近隣市町村の動向などを注視しながら対応を検討する。



基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H29実績	H30実績	R2目標	
3-2 市民意識の啓発	市民	青少年の健全育成の意識を高める。	「青少年健全育成に関心を持っている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	%	49.8	53.1	75.0	B 子どもたちを取り巻く環境や課題は複雑化しており、学校だけではなく地域が一体的となって取り組む教育振興運動実践区の活動により、青少年健全育成に対する地域住民の意識が醸成され、関わりを持つ方々の拡充も図られ、さらなる推進体制の強化を図ることにより、安定的に継続した活動を期待できる。

□総括

施策名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H29実績	H30実績	R2目標	
3 青少年健全育成の推進	青少年(児童・生徒から20歳まで)	社会性や社会規範を身につけ、連帯感を育む	①非行少年・不良行為少年 検挙・補導人数(大船渡警察署) ②「青少年健全育成に関心を持っている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	人 %	86 49.8	65 53.1	26 75.0	B 公民館の各種事業や教育振興運動を通して、子どもたちの豊かな人間性や社会性等を育むとともに、生きる力の育成に努めた。 教育委員会所管の事務事業は、概ね計画通りの成果が得られているが、青少年健全育成事業については、非行防止・防犯対策から学校教育・社会教育・まちづくり活動等、広範囲にわたっていることから、より効果的に事業を推進していくため、関係組織・団体等の連携を図っていく必要がある。 また、非行少年・不良行為少年検挙・補導者数が依然として多いことから、市民意識の向上を図るため、普及・啓発活動等を実施し、更なる青少年の健全育成に努める必要がある。

<課題>
・教育分野の取組と、防犯・非行防止、まちづくり活動等との更なる連携と、効率性の観点から青少年の健全育成を図るための推進体制の強化
・地域ぐるみで地域の教育課題の解決に取り組む教育振興運動を継続して推進するため、各実践区の推進体制を強化